

令和4年12月定例教育委員会

- 開催日時 令和4年12月23日(金) 13時00分～13時47分
- 開催場所 教育委員室(県庁22階)
- 出席委員等
教育長 森作 宜民
教育長職務代理者 市原 健一
委員 内藤 學
委員 川上 美智子
委員 中田 俊之
委員 庄司 一子
委員 中庭 陽子

※ 事務局出席者については、別紙のとおり

○ 議案

- 1 専決報告
公開 専決第9号 茨城県教育委員会の任命に係る技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則制定の専決について (総務課)
公開 専決第10号 茨城県指定有形文化財の指定の専決について (文化課)
- 2 報告
非公開 1 令和5年度採用県立高等学校等における校長公募の合格者について (高校教育課)
- 3 議案
公開 第27号議案 茨城県教育庁等職員服務規程等の一部を改正する訓令の制定について (総務課)
- 4 その他
公開 1 第2回令和4年度茨城県立高等学校等入学者選抜方法協議会の結果について (高校教育課)

※ 非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会の宣言があり、非公開審議項目についての提案がなされ、各委員から了承されました。

2 議 事

【公 開】

専決第9号 茨城県教育委員会の任命に係る技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則制定の専決について

(総務課長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(各委員) 特になし

専決第10号 茨城県指定有形文化財の指定の専決について

(文化課長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(各委員) 特になし

第27号議案 茨城県教育庁等職員服務規程等の一部を改正する訓令の制定について

(総務課長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(各委員) 特になし

その他1 第2回令和4年度茨城県立高等学校等入学者選抜方法協議会の結果について

(高校教育課) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(中田委員) 2点教えていただきたいんですが、追検査の試験問題というのは、学力検査のときの問題と違うものが出題されるんですよね。その場合、同じ点数だとしても偏差値が違ったりすることがあると思うんですけど、何か調整とかされるんですか。

(高校教育課長) 学力検査と追検査は別の問題を使用しますが、点数の調整はしません。基本的には採点した得点のまま合否判定を行っています。問題の内容については同じ難易度、同じ質、分量も含めて、しっかりとした作問をしてお

りますので、同じ点数であれば同じという考え方で合否判定を行っております。

(中田委員)

わかりました。

あともう1点、県立中学校、中等教育学校の追検査がないというのは、中学校、中等教育学校の場合は他に入る中学校が必ずあるからというのは聞いているんですが、その考えは今後も変えない予定ですか。来年がどうなるかわかりませんが、コロナ禍でこれだけ感染者が出ていて、人生を変える大きな選択である中学受験を、コロナに罹ってしまっても追検査がないというのはちょっと残酷かなと感じるんですが、そこらへんの考え方を教えてください。

(高校教育課長)

基本的にはこれまでと同じ考え方で、追検査を準備するという考えはございません。

中学校、中等教育学校の選抜検査は、適性検査と面接という形で行っていますが、高校で行っている学力検査とは異なり、別の形でもう一度追検査を設定することが非常に難しいということ。

さらに、中学校は義務教育なので、県立の中学校が受験できなくても、地元の中学校に入学することができること。

そういったことを勘案した結果、現状で追検査の設定は考えていないというところでございます。

(中田委員)

このご時世だと、ちょっと残酷な考えかなと思えますが、いかがでしょうか。

(高校教育課長)

今回試験日程の前倒しも含めて様々な観点から、受験者の視点で考えた場合にも、冬休みという期間をきちんと入試日程の前に置くことで、昨年度も一昨年度も当日の新型コロナウイルス感染症を含めた感染症での欠席者というのはゼロとなっております。

小学校6年生という年齢を考えた場合に、受験日の前の冬休み、長期休業が入るということは非常に大きな受験者にとってのメリットになっているということも整理した上での考え方でございます。

(中田委員)

そこで受験を強く希望する人は接触を避けるような行動が取れるよということですね。

(高校教育課長)

はい。さようでございます。

(中田委員)

わかりました。

(中庭委員)

試験日程が早まった感想としましては、学校にとっても、受験生にとっても、高校への入学準備期間というのが、ある程度余裕があった方がいいと思いますのでよかったですと思います。

また、第2次募集の学力検査を行わないというのも、受験に1回失敗した受験生の心情と、学校側の負担を考えますと適正、妥当なことかなと思っております。

そのような中で一つお伺いしたいのは、学力検査後に卒業式があったり、いろいろと学校行事があると思うんですが、入試事務における採点については、どのような日程で組まれているの教えてください。

(高校教育課長)

昨日の入学者選抜方法協議会でも採点の質問がございました。

昨日の回答としましては、まず試験日程を決めて、事務作業に関してはこのあと、特に採点事務は教育長が定める休養日に行うという形ですっきりとした設定が必要なので、詳細はこのあと検討しますという回答をいたしました。

基本的には学力検査をやった翌日、翌々日を採点日というようなことが、これまでも設定されておりますので、そのことを基本として検討していきたいと考えております。

(川上委員)

中学校、中等教育学校の選抜に関しては追試験がございませんが、それはそれで妥当だと思います。ただ、そのあとに東京都などの私学の受験がありますよね。そこで合格者が抜けてしまうことが想定されるかと思うのですが、補欠合格はあるのですか。

(高校教育課長)

ご説明いたします。

令和6年度の日程で見ていただいた場合、1月18日が合格者の発表です。

合格発表の日と翌日に入学確約書を、要するに合格者から入学の確約書

を提出していただきます。そこでもうすでに合格者が抜けてしまう可能性がありまして、合格発表の翌日までに確約書が出なかった場合には、翌週の23日に欠員の補充を一度行います。

川上委員がおっしゃるとおり、2月上旬まで東京都内の私立も含めて受験が続いて合格者が出てきますので、そこで入学を辞退する方がいますから、その都度欠員の補充を行って、募集定員を充足するような形での対応をこれまでもしておりますし、今後もしていきます。

【非公開】

報告1 令和5年度採用県立高等学校等における校長公募の合格者について

3 閉 会

教育長から閉会の宣言がなされました。

(別紙)

令和4年12月定例教育委員会 事務局職員出欠表

令和4年12月23日(金)

職名	氏名	出欠	代理者職氏名
総務企画部長	大谷 美恵子	○	
学校教育部長	秋本 光徳	○	
総務課長	木内 規雄	○	
教育企画監	鹿志村 泉	○	
財務課長	田崎 俊一	○	
生涯学習課長	市村 志保	○	
文化課長	宮崎 薫	○	
教育改革課長	内桶 博仁	○	
義務教育課長	田辺 光博	○	
高校教育課長	柳橋 常喜	○	
特別支援教育課長	戸祭 勝典	○	
保健体育課長	清水 秀一	○	